

教科	社会(公民的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 現代社会と私たち	4	・現代日本の特色について理解させる。 ・少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	○少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。	○少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響を多面的・多角的に考察し、表現している。	○私たちが生きる現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第2章 個人の尊重と日本国憲法	3	・人間の尊重についての考え方や、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	○人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ○民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ○日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ○日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。	○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	○人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第3章 現代の民主政治と社会	4	・日本の民主政治の仕組みや政党の役割を理解させる。 ・法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させる。 ・地方自治の基本的な考え方について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	○国会を中心とする日本の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ○法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ○地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。	○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第4章 私たちの暮らしと経済	5	・経済活動の意義について理解させる。 ・市場経済の基本的な考え方や、金融などの仕組み、働きを理解させる。 ・社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解させる。 ・対立と合意、効率と公正などに着目して、経済活動の役割と責任や、職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・対立と合意、効率と公正などに着目して、市場の働きに委ねることが難しいさまざまな問題に関して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	○経済活動の意義について理解している。 ○市場経済の基本的な考え方や金融などの仕組みや働きを理解している。 ○社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。	○対立と合意、効率と公正などに着目して、経済活動の役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正などに着目して、市場の働きに委ねることが難しいさまざまな問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	○市場の働きと経済について、現代社会に見られるさまざまな課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ○国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られるさまざまな課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第5章 地球社会と私たち	6	・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。 ・地球的課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られるさまざまな課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。 ○地球的課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。	○対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	○世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られるさまざまな課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。